

# お矢のせ

平成23年12月通信第1号

かっぱの家族

代表 鳥居恭行 発行担当 坂本順一

## 賑やかになったかっぱの苑

私たちは美浜町の住民が集まり、地域活性化を目指している市民団体です。河和港にあるかっぱの家族像をシンボルマークに活動を行っています。

平成23年12月10日かっぱの家族に新たな家族が加わりました。昭和31年に第1回かっぱカーニバルのシンボルとしてかっぱ像ができてから、55年目に賑やかになりました。

美浜のかっぱ伝説の石碑も設置されました。ぜひ、河和港にお立ち寄りの際は、かっぱの苑をご覧ください。

平成23年12月10日除幕式 河和港



美浜のかっぱ伝説

編集かとうまこと

むかしむかし、美しい浜をもつある村の小川に親子のかっぱがすんでいました。そのかっぱは、太郎父ちゃん・ゆり子母ちゃん・娘の花ちゃんと息子の和ちゃん、しあわせなかっぱの家族でした。しかし、かっぱ親子は村人たちにその姿を見せることはありませんでした。

ある年の夏、それはそれは暑くてひでりの毎日でした。田畑も池や川も干上がり、雨乞いをする日々です。暑さと栄養不足で寝込む村人もあとをたちません。枯れ果ててゆく田畑、祈る村人、泣きじやくる子どもたち。ついにかっぱ親子は雨を降らせる決心をしたのです。

その夜、かっぱ親子は、月明かりの浜で天に祈りを捧げて雨雲を呼び寄せようとなりました。やがて雲が月をかくし、真っ暗になった空から雨が降り始めました。次第に強くなっていく雨は干上がった大地にしみこみ、村中大喜びとなりました。

かっぱ親子は、こうしてくる日もくる日も村人たちの知らないところで雨を降らせ続け、やがて村は落ち着きを取り戻し始めたのでした。

裏面続く



かっぱの家族とやろう会(細目)が協働で作成しています。モリコロ基金の助成を受けています。

かっぱの家族・やろう会発行